初日に
足袋・スリッパ議会を
開催しました。

9月定例会

補正予算、条例改正、決算認定など19議案を審議しました



市長提出議案

補正予算

補正総額1億2958万円余り（原案可決）

行田市実施計画に掲げる施策のひとつである市民の安全・安心の確保のほか、まちの活性化につながる施策や当初予算計上後の事情変更に伴う所要経費など、必要な予算について措置したものです。

歳出の主な内容は、総務費では、県がクビアカツヤカミキリの被害拡大に対応するための緊急対策として補正予算を計上したことを受け、計画していた被害木の伐採等を前倒しで実施するための委託料を措置します。

農業費では、北河原土地改良区が管理する第3揚水機場の水中ポンプが損傷し、地域の営農に支障があることから、補修費用に対する補助を行います。

観光費では、文化庁の日本遺産を活用した魅力ある地域づくり推進モデル事業の採択を受けたことから、新たなコンテンツ醸成と国内外への情報発信に係る各種事業を実施するための委託料を措置します。

土木費では、緊急輸送道路における道路陥没事故の未然防止と災害時の迅速かつ円滑な通行確保を目的に路面下空洞調査を実施するほか、資材費や労務費の高騰などにより工事費等が当初の見込みを上回ることから必要な経費を措置します。

また、老朽空き家等解体補助金の需要が当初の見込み件数を上回り、予算の不足が見込まれることから、追加措置を行います。

なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、繰越金、諸収入、市債により措置するものです。

人事案件

○行田市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて（同意）

五十幡和彦氏の教育委員会委員の任命について同意しました。

○行田市固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意を求めるについて（同意）

柿沼隆司氏の固定資産評価審査委員会委員の任命について同意しました。

決算

令和7年度の決算を可決及び認定

令和7年度行田市一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、水道事業会計及び公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定並びに4特別会計（国民健康保険事業、交通災害共済事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業）の歳入歳出決算認定については、所管の常任委員会で審査を行い、原案可決及び認定しました。

【主な質疑】

問 ごみ収集事業について、令和7年度に比べ可燃ごみと不燃ごみの収集量は減少しているのに対し、粗大ごみ等の収集量が増加している原因は。

答 昨年10月から火災や事故防止のため、スプレー缶等の分別区分を有害ごみに変更したことが影響していると考えられる。

問 移住定住促進事業の決算額が予算の約半分の支出額であるが、どのような検証を行い、どう評価しているか。

答 移住定住コンシェルジュの退職による人件費の執行残及び奨学金返還支援制度の申請者が当初の見込みより少なかったことによるものだが、アンケートによると、申請者の半数以上が本制度が移住のきっかけになったと回答していることから、一定の効果はあるものと考える。